



中九州道の大分宮河内―犬飼IC

「山側ルート」国方針

災害時の機能評価

大分、熊本両県をつなぐ高規格道路「中九州横断道路」で未着手の大分宮河内―犬飼インターチェンジ（IC）間について、国土交通省九州地方整備局は4日、大分市吉野地区などを通る「山側ルート」で整備する方針を決めた。災害時の機能維持などから他のルートより優れていると判断した。今後は国が詳細を詰める作業に入る。事業化に向けて大きな一歩を踏み出した。

中九州道は大分市―熊本市間の120キロ。県内では犬飼IC―竹田IC間（25・3キロ）が開通し、東九州道に接続するルートが検討されてきた。国は昨年12月、「山側」「現道活用」「平地」の3案を県や関係自治体に提示。大分県が山側を

要請していた。整備の在り方を審議する有識者の委員会（委員長・円山琢也熊本大大学院教授）が4日、福岡市内で開かれ、国交省が方針を説明した。山側ルートのメリットとして▽大野川流域の浸水想

定区域をほぼ回避できる▽大分市の3次医療施設（アールメイダ病院）に30分以内で到着できる住民の数が最も多くなる―といった点を挙げた。中間に設けるICは県の要望通り、吉野地区への設置を「妥当」とした。白杵

市との行き来が活発になるほか、国道10号が使えない



場合のバイパス的な役割が見込めることも重視した。委員会も了承した。事業着手の時期は未定。国は希少な植物がないかを調べる環境影響評価も実施する。詳細なルートは県の都市計画審議会を経て決まる見通し。

佐藤樹一郎知事は「早期事業化に向けた大きな前進でうれしい限り。全線完成に向けて、熊本県などと連携して国に強く要望する」とのコメントを出した。（江藤嘉寿）



記事をよく読んで、問①～⑤に答えましょう。問⑤は自分で考えてみましょう。

〔問①〕高規格道路「中九州横断道路」の全区間と距離を書いてください。

答え 【 大分 】 市から 【 熊本 】 市間の 【 120 】 キロ

〔問②〕現在、県内で開通している区間と距離を書いてください。

答え 【 犬飼インターチェンジ (IC) 】 から 【 竹田IC間 】
の 【 25.3 】 キロ

〔問③〕これから整備に向けて事業化される大分宮河内－犬飼IC間について、国が「山側ルート」の方針とする理由は何ですか。

- ・大野川流域の浸水想定区域をほぼ回避できる
- ・大分市の3次医療施設（アルメイダ病院）に30分以内で到着できる住民の数が最も多くなる

〔問④〕大分宮河内－犬飼IC間の中間に設けるICを吉野地区が「妥当」とした理由を挙げてください。

臼杵市との行き来が活発になるほか、国道10号が使えない場合のバイパス的な役割が見込める

〔問⑤〕中九州横断道路が全線開通したら、どのような効果が生まれると思いますか。自分の意見を述べてみましょう。

※自由記述